

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

 気をつけていただく内容です。

警告

必ず規定容量のヒューズを使用する また、交換は専門技術者に依頼する

 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にご依頼ください。

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険をおよぼす場所には、絶対に取り付けない

 **禁止** 運転に支障をきたす場所（シフトレバー、ブレーキペダル付近など）、前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない

 **禁止** ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因となります。

運転者は走行中に操作をしない また、画像・表示を注視しない

 **禁止** 走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

警告

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

 車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す

 ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。火災や感電、事故の原因になります。

DC12 V マイナス ⊖ アース車で使用する

 DC12 V マイナス ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車（DC24 V 車）には使用できません。火災や故障の原因となります。

故障や異常のまま使用しない

 **禁止** 煙が出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因となります。
●直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

分解や改造はしない

 **分解禁止** 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

雷が鳴り出したらアンテナ線やテレビには触れない

 **接触禁止** 感電の原因となります。

キャップなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

 **禁止** あやまって、飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に水や異物を入れない

 **禁止** 内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようご注意ください。

大きな音量で使用しない

 **禁止** 車外の音が聞こえない状態での運転は、交通事故の原因になります。